

# ナンバーワン!

宮城県学童軟式野球のナンバーワンを決める「河北新報旗争奪第40回宮城県スポーツ少年団軟式野球交流大会(ジャンボ大会)」(県スポーツ少年団、河北新報社など主催)が4月30日に開幕した。県内から231チームが参加。6月24日にKoboパーク宮城で行われる決勝に向けて日頃の練習の成果を競い合った。本号では6月4日に牛橋野球場と鹿島台球場で行われたブロック決勝(5回戦)8試合をレポート。選手たちはどんな戦いを見せてくれただろうか。準々決勝から決勝までは次号(9月1日発行)に掲載する。

撮影◎小野勉、庄子隆 文◎平川元

牛橋野球場

## 多賀城ニューパワーズ 6-2 福岡リトルモンスターズ

第1試合

	1	2	3	4	5	計
多賀城	2	3	0	1	0	6
福岡	0	0	1	0	1	2

### 多賀城が序盤に攻勢、福岡の反撃届かず



多賀城は序盤の集中打で勝利をもぎ取った

**昨**年の大会で準々決勝に進出した多賀城ニューパワーズ(多賀城市)と福岡リトルモンスターズ(仙台市泉区)の戦いは、序盤に攻勢をかけた多賀城が終始試合を有利に進めた。一回表に4番赤間央門のランニング本塁打で2点を先制、続く二回に1番渡辺慶太の二塁打、4番赤間の2点タイムリーで3点を加え、リードを広げた。反撃したい福岡は、三回裏に8番平形海の犠打で1点を返し5-1とした。しかし4回表に多賀城が1番渡辺のランニング本塁打で加点し、6-1と再び突き放す。逆転を狙いたい多賀城は最終回の攻撃で1番佐藤響の三塁打で1点を返したものの反撃はここまで。赤間の投打にわたる活躍で6-2と多賀城がベスト8に進出した。多賀城の鈴木樹里主将は「全体としては良かったが、バントなどにミスがあったのが悔しい。次戦はミスを無くして勝利したい」とほぼ笑んだ。昨年は不戦敗となった準々決勝を勝ち上がってほしい。



福岡は最終回に1点を返したが及ばなかった

牛橋野球場

## 館スポーツ少年団 2-7 浮島サザンカジュニアーズ

第2試合

	1	2	3	4	5	計
館	2	0	0	0		2
浮島	0	3	2	2		7

70分時間制限により4回打ち切り

### 館が先制するも、浮島が逆転勝利を収める

**第**2試合は、昨年は初戦敗退だったが、今年は勢いに乗っている館スポーツ少年団(大和町)と昨年ベスト8の浮島サザンカジュニアーズ(多賀城市)の対戦となった。館が一回表に強烈な先制パンチ。1番浅野隼人の安打、2番佐藤風雅の三塁打であっさり先制、1死三塁から4番千葉駿誠の二塁打で追加点を挙げた。早めに追い付きたい浮島も反撃を開始。二回裏に2安打と三つの盗塁を絡めて2死満塁で1番阿部太翼が走者一掃の三塁打を放ち2-3と逆転に成功した。続く三、四回にも盗塁を重ねて2点ずつ奪った浮島が2-7で2年連続のベスト8入りを果たした。先発の後藤嵩大が二回から立ち直って零封した。館は二回以降四球の走者が1人と打線が沈黙した。浮島の万城目琳久主将は「初回の館の攻撃には焦ったが、みんなで声を出しあって反撃につなげることができた。準々決勝以降も一戦一戦抜く」と今後の勝利を誓った。



館の4番千葉が1回に2点目となるタイムリー二塁打を放った



浮島の先発・後藤は2回目に降立ち直り好投した